



宮代町立図書館

2025年度利用者アンケート

2026.4.30

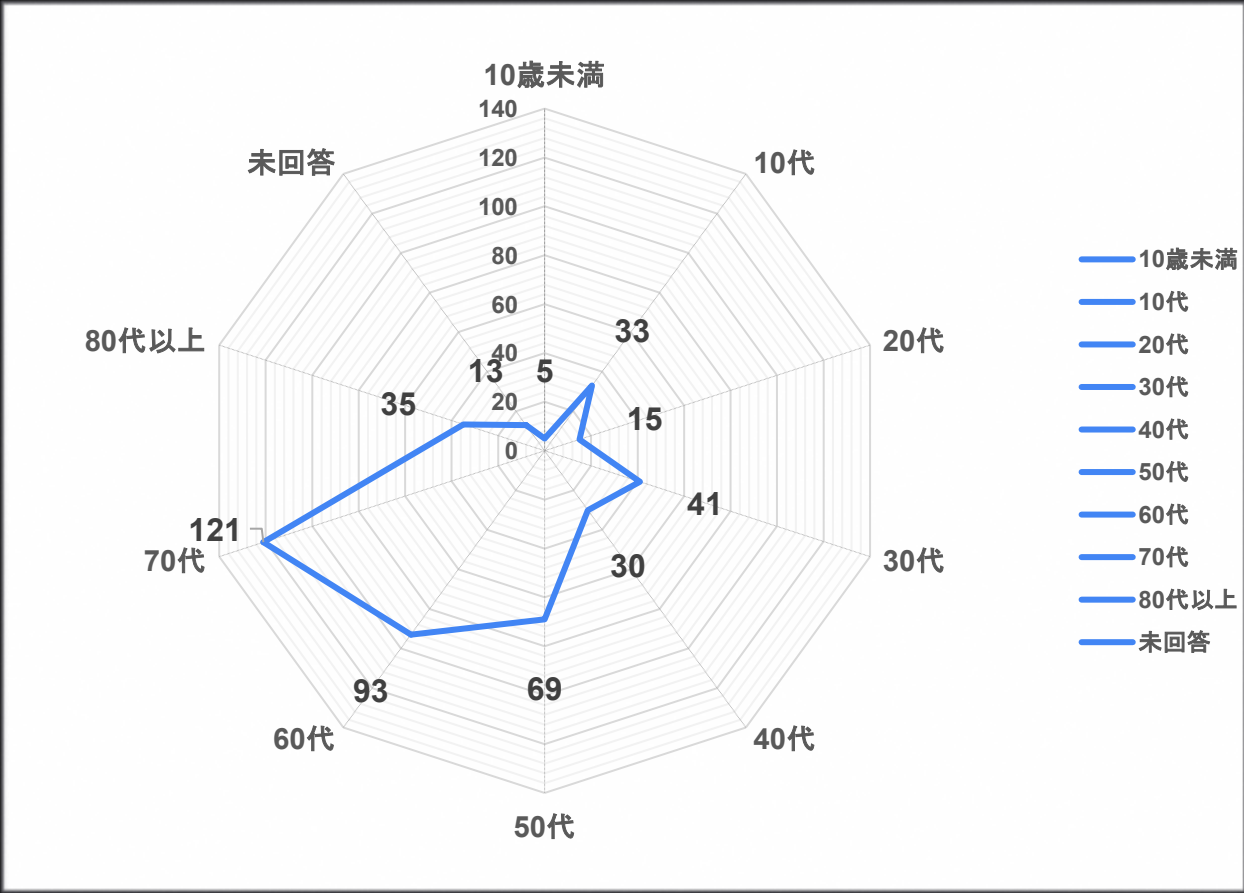
宮代町立図書館

目次

1. 調査概要
2. 利用者属性（年代・地域）
3. 利用状況（頻度・交通手段・利用内容）
4. 利用満足度（施設・資料・サービス）
5. サービス認知・利用状況
6. WEBサービス利用状況
7. 今後のニーズ（重点分野・サービス）
8. 分析まとめ（図書館の現状）



1. 利用者アンケート年代別回答者数



年齢	人数	割合
10歳未満	5	1.1%
10代	33	7.3%
20代	15	3.3%
30代	41	9.0%
40代	30	6.6%
50代	69	15.2%
60代	93	20.4%
70代	121	26.6%
80代以上	35	7.7%
未回答	13	2.9%
総計	455	

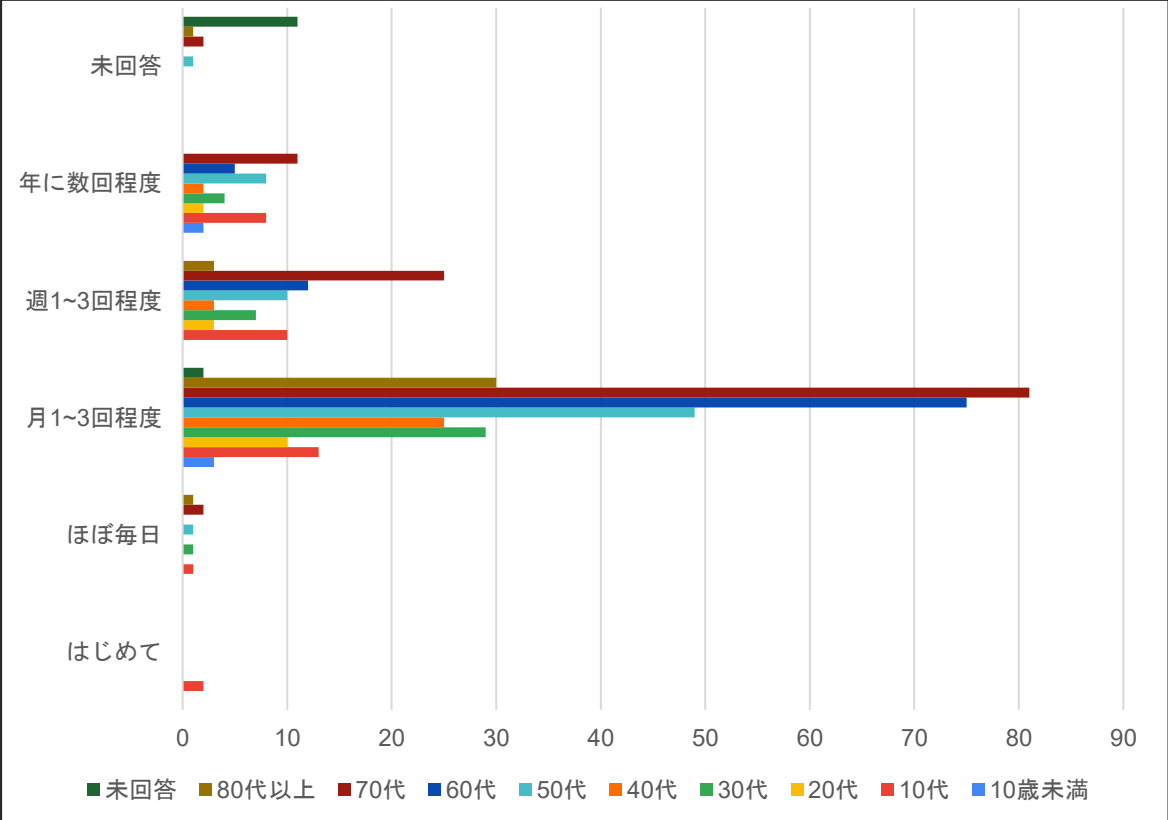
455 件の回答（WEB 331件、紙 124件）

年齢別回答を見ると、60代（20.4%）、70代（26.6%）を中心に、50代以上が全体の約7割を占めており、宮代町立図書館は中高年・シニア層の利用を基盤とする図書館であることが分かる。一方で10～30代の割合は約2割にとどまっており、若年層や子育て世代の利用にはまだ伸びしろがあると考えられる。今後は図書館利用者だけでなく、図書館を利用していない層を対象とした調査を行い、来館しない理由や潜在的なニーズを把握することが重要である。

2. 年代別図書館利用頻度

	はじめて	ほぼ毎日	月1~3回程度	週1~3回程度	年に数回程度	未回答	総計
10歳未満			3		2		5
10代	2	1	13	10	8		34
20代			10	3	2		15
30代		1	29	7	4		41
40代			25	3	2		30
50代		1	49	10	8	1	69
60代			75	12	5		92
70代		2	81	25	11	2	121
80代以上		1	30	3		1	35
未回答			2			11	13
総計	2	6	317	73	42	15	455

シニア中心の定期利用型図書館



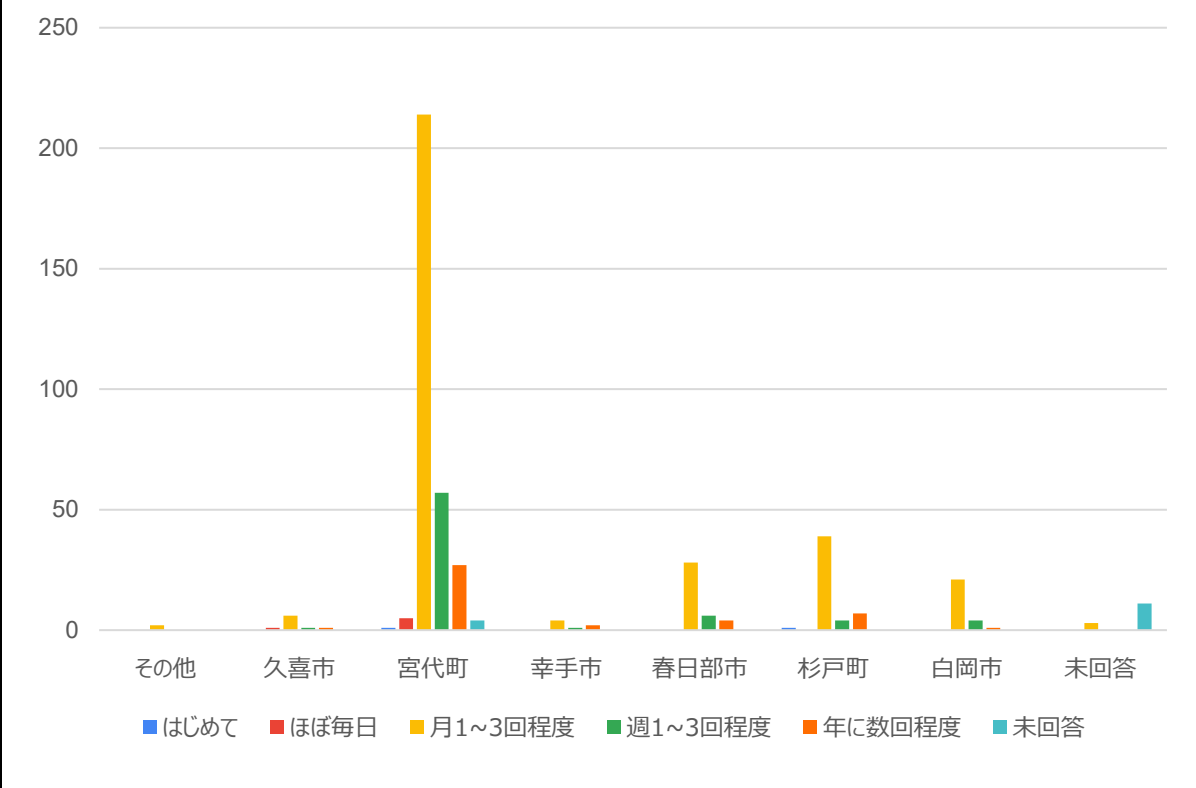
455 件の回答

年代別の利用頻度を見ると、すべての年代で「月1~3回程度」の利用が最も多く、図書館は日常的というより定期的に利用される施設であることが分かります。日常利用のさらなる促進については、今後の検討領域と考えられます。特に60代・70代では週1~3回程度の利用も一定数見られ、継続的な利用者層が形成されている。一方で10~30代では「年に数回程度」の割合が相対的に高く、利用頻度は比較的低い傾向にある。年代によって利用頻度に差があり、図書館は中高年層に支えられている構造が見て取れる。

3. 利用者地域別利用頻度

宮代町立図書館は町内住民による定期利用を基盤としつつ、
周辺自治体からも目的に利用される広域生活圏型の図書館

	はじめて	ほぼ毎日	月1～3 回程度	週1～3 回程度	年に数 回程度	未回答	総計
その他			2				2
久喜市		1	6	1	1		9
宮代町	1	5	214	57	27	4	308
幸手市			4	1	2		7
春日部市			28	6	4		38
杉戸町	1		39	4	7		51
白岡市			21	4	1		26
未回答			3			11	14
総計	2	6	317	73	42	15	455



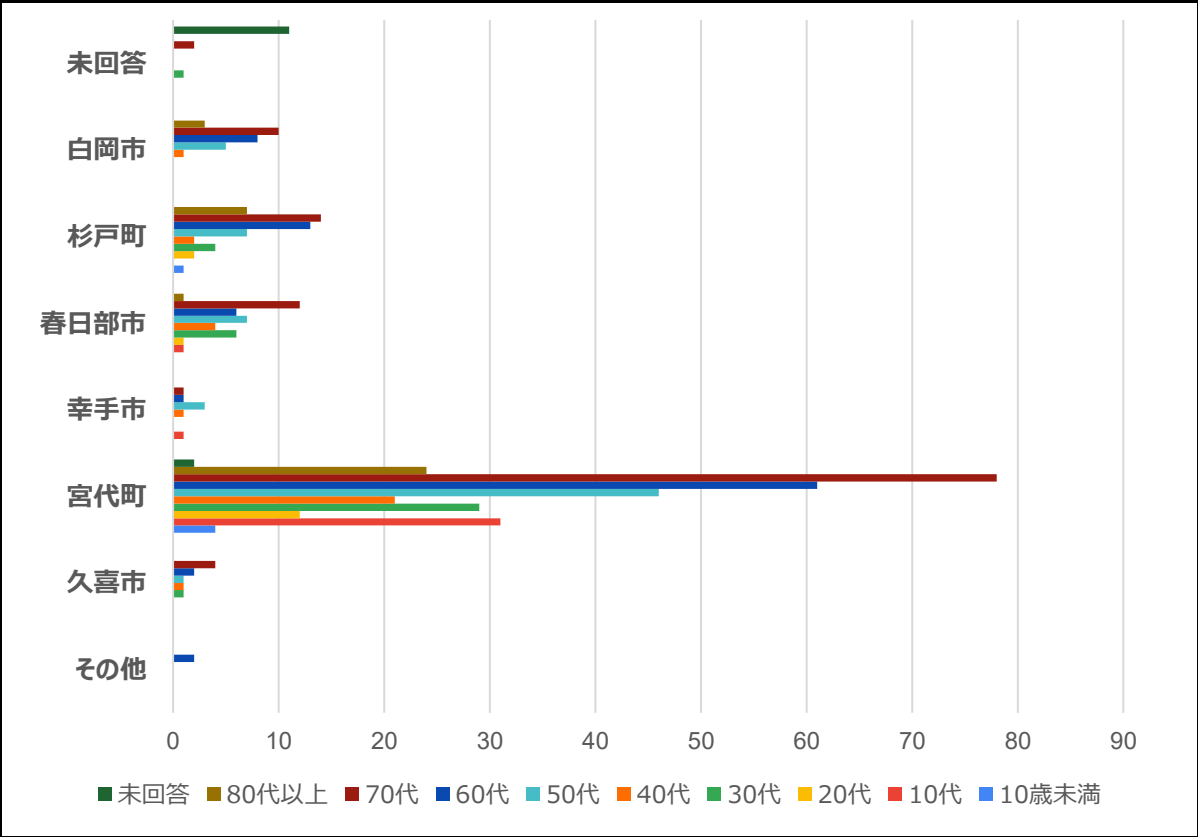
455 件の回答

地域別の利用頻度を見ると、宮代町在住者が最も多く308件となり、図書館利用の中心を占めている。
また利用頻度は「月1～3回程度」が最も多く、次いで「週1～3回程度」となっており、定期的に利用されていることが確認できる。
一方で近隣自治体（杉戸町、春日部市、白岡市等）からの利用も一定数見られ、特に月1～3回程度の利用が中心となっている。
これらの結果から、宮代町立図書館は町内利用を基盤としつつ、周辺地域からも定期的に利用される生活圏型の図書館であることがうかがえる。

4. 年代別居住地

	その他	久喜市	宮代町	幸手市	春日部市	杉戸町	白岡市	未回答	総計
10歳未満			4			1			5
10代			31	1	1				33
20代			12		1	2			15
30代		1	29		6	4		1	41
40代		1	21	1	4	2	1		30
50代		1	46	3	7	7	5		69
60代	2	2	61	1	6	13	8		93
70代		4	78	1	12	14	10	2	121
80代以上			24		1	7	3		35
未回答			2					11	13
総計	2	9	308	7	38	50	27	14	455

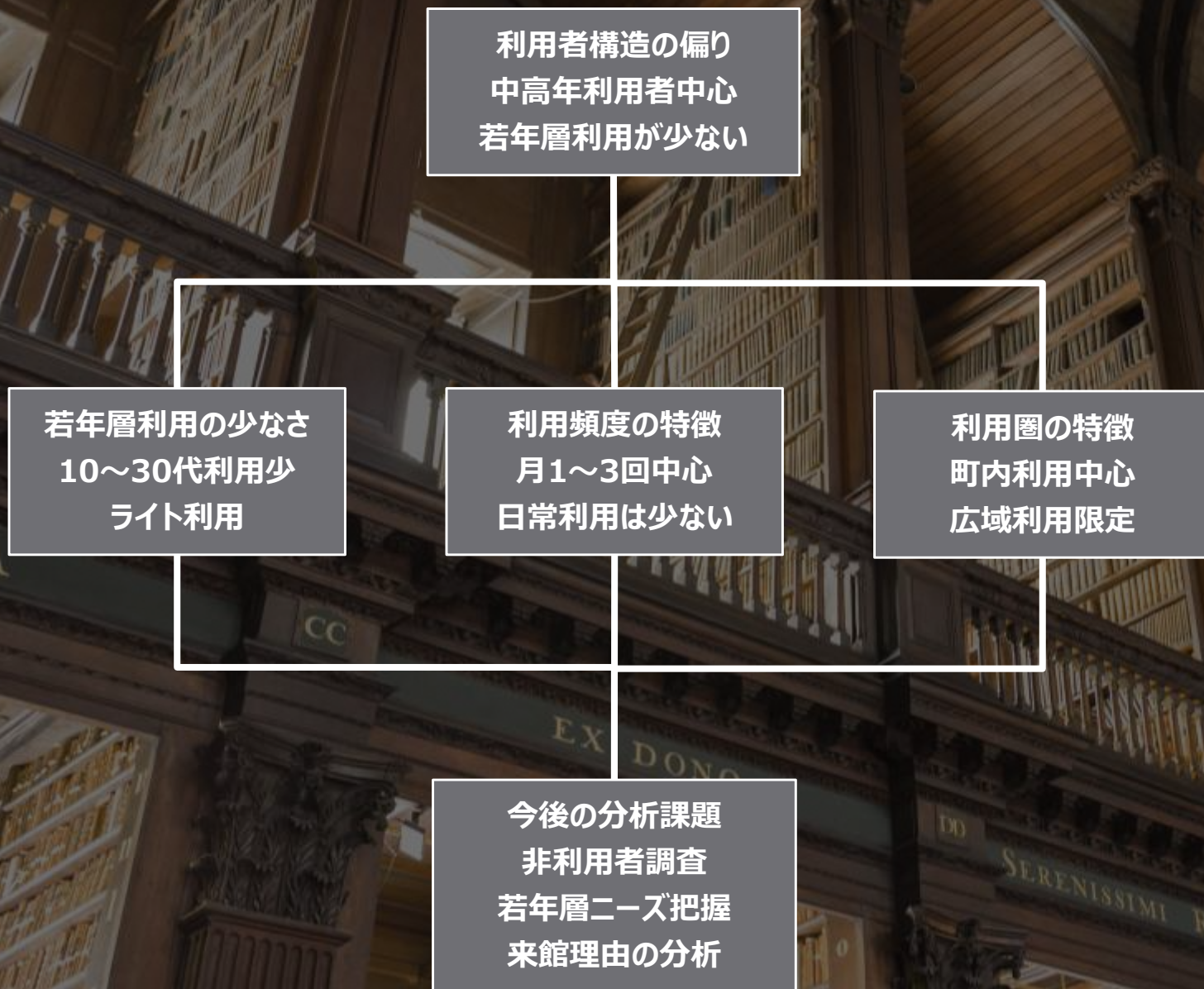
地域生活圏に支えられた定期利用型の地域図書館



455 件の回答

年齢別に居住地を見ると、すべての年代で宮代町在住者が最も多く、図書館利用の基盤は町内住民であることが確認できる。一方で杉戸町、春日部市、白岡市など周辺自治体からの利用も見られ、とくに50～70代では近隣地域からの利用が比較的多い。若年層はほぼ宮代町在住者が中心であり、年代が上がるにつれて周辺自治体からの利用が増える傾向が見て取れる。

利用者アンケートから見る現在の図書館像



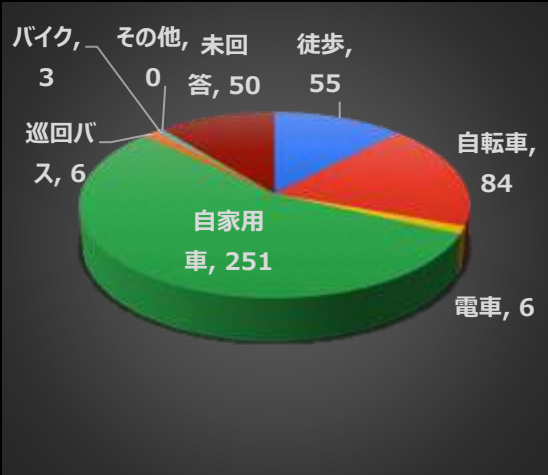
利用者アンケートの分析から、宮代町立図書館は中高年層の利用が比較的多い傾向が見られる一方で、若年層の利用についてはさらなる利用促進の余地があると考えられます。

利用頻度は「月1～3回程度」が中心となっており、定期的に利用される施設であることが分かります。日常利用のさらなる促進については、今後の検討領域と考えられます。

この分析から、若年層利用の促進や非利用者のニーズ把握が、今後の重要な検討領域として整理できます。

5. あなたご自身のことについてお尋ねします
【図書館への主な交通手段】

交通手段	人数	割合
徒歩	55	12.1%
自転車	84	18.5%
電車	6	1.3%
自家用車	251	55.2%
巡回バス	6	1.3%
バイク	3	0.7%
その他	0	0.0%
未回答	50	11.0%
計	455	



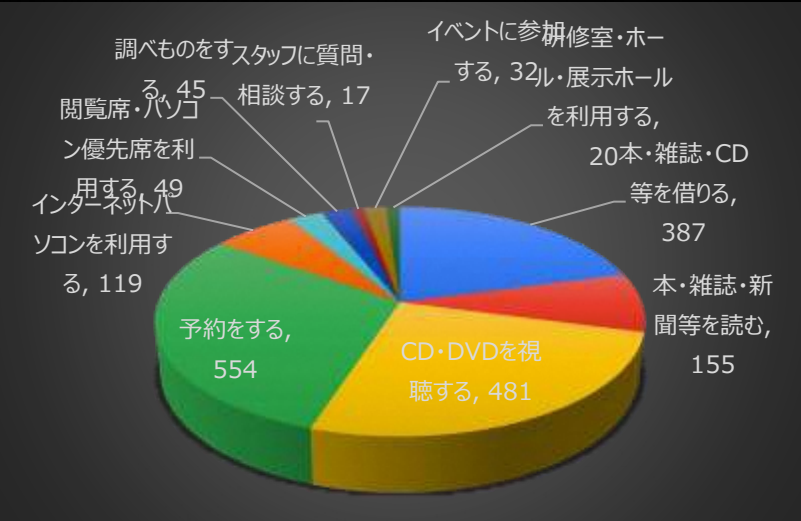
455 件の回答

交通手段については、自家用車が約55%と過半数を占めており、図書館利用の中心は車利用であることが確認できる。次いで自転車が約19%、徒歩が約12%となっており、近隣住民による日常利用も一定程度存在している。一方で電車や巡回バスの利用は限定的であり、公共交通による来館は少ない傾向が見られる。

宮代町立図書館は自家用車利用を中心とした生活圏型の図書館であり、駐車場機能が利用の前提となっている。一方で、将来的には来館が困難となる層への対応が重要な課題となる可能性がある。

6. 図書館をどのように利用していますか。
下記の中から選択してください（複数選択可）

図書館をどのように利用していますか	人数	割合
本・雑誌・CD等を借りる	387	20.8%
本・雑誌・新聞等を読む	155	8.3%
CD・DVDを視聴する	481	25.9%
予約をする	554	29.8%
インターネットパソコンを利用する	119	6.4%
閲覧席・パソコン優先席を利用する	49	2.6%
調べものをする	45	2.4%
スタッフに質問・相談する	17	0.9%
イベントに参加する	32	1.7%
研修室・ホール・展示ホールを利用する	20	1.1%
未回答	0	0.0%
計	1859	

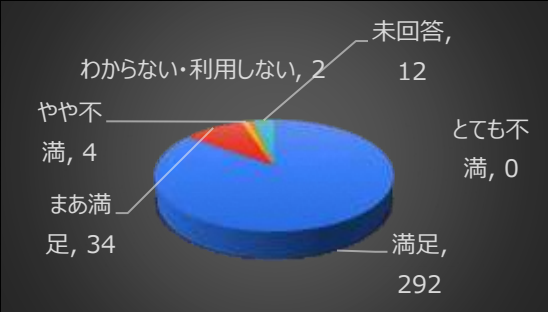


図書館の利用内容については、「予約」が約30%と最も多く、次いで「CD・DVDの視聴」「資料の貸出」が続いている。これらの結果から、宮代町立図書館は資料を館内で探して利用するというよりも、予約を起点とした利用が中心となっていることがうかがえる。一方で、「調べもの」「スタッフへの相談」「イベント参加」などの利用割合は低く、図書館の持つ情報提供機能や参加型サービスについては、現状では活用が限定的な側面も見られます。一方で、これらの機能は図書館の重要な役割でもあり、今後さらなる活用促進が期待される領域です。

宮代町立図書館は、予約を起点とした効率的な利用が中心となっており、資料提供機能は活発である。一方で、調査・相談・参加といった図書館本来の機能は、さらなる活用が期待される領域であり、今後の活用促進が期待される。

7. 館内の過ごしやすさ、心地よさ

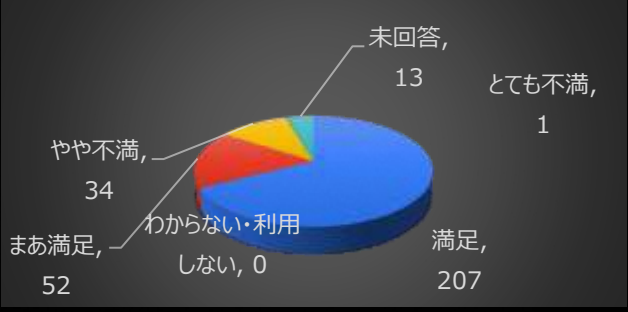
館内の過ごしやすさ、心地よさ		
満足	292	84.9%
まあ満足	34	9.9%
やや不満	4	1.2%
とても不満	0	0.0%
わからない・利用しない	2	0.6%
未回答	12	3.5%
総計	344	



館内の過ごしやすさについては、「満足」「まあ満足」を合わせて約95%と非常に高い評価となった。利用者にとって、宮代町立図書館は安心して過ごせる空間として認識されていることが確認できる。一方で、不満の割合は少ないものの一定数存在しており、快適性の維持・向上に向けた継続的な対応が重要であると考えられる。

8. 館内や本棚の案内表示のわかりやすさ

館内や本棚の案内表示のわかりやすさ		
満足	207	67.4%
まあ満足	52	16.9%
やや不満	34	11.1%
とても不満	1	0.3%
わからない・利用しない	0	0.0%
未回答	13	4.2%
総計	307	



館内や本棚の案内表示のわかりやすさについては、「満足」「まあ満足」を合わせて約84%と概ね高い評価となっている。一方で、「やや不満」「とても不満」が約11%存在しており、一定数の利用者にとっては資料の場所や分類が分かりにくい状況があることが示唆される。

9. 所蔵している資料(本・雑誌・CD等)の内容、分野構成

所蔵している資料（本・雑誌・CD等）の内容、分野構成		
満足	138	47.4%
まあ満足	54	18.6%
やや不満	74	25.4%
とても不満	2	0.7%
わからない・利用しない	5	1.7%
未回答	18	6.2%
総計	291	



所蔵資料の内容や分野構成については、「満足」「まあ満足」を合わせて約66%となっている一方で、さらなる充実に向けたご意見も見られました。図書館全体の満足度が高い中で、資料の充実度については今後の重点的な検討領域の一つと考えられます。

10. 各特集コーナーの内容

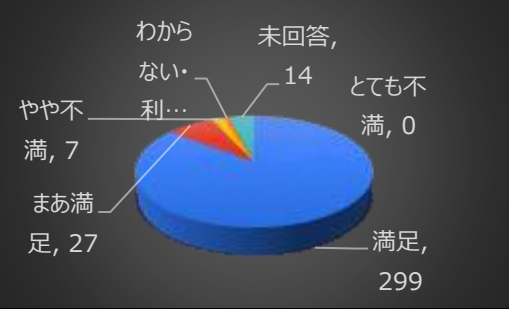
各特集コーナーの内容		
満足	177	64.6%
まあ満足	42	15.3%
やや不満	15	5.5%
とても不満	0	0.0%
わからない・利用しない	21	7.7%
未回答	19	6.9%
総計	274	



各特集コーナーの内容については、「満足」「まあ満足」を合わせて約80%と高い評価となっており、利用者にとって魅力的な取り組みとして認識されている。一方で、「やや不満」は約6%と低いものの、「わからない・利用しない」が約8%存在しており、認知や利用の広がりには課題がある可能性が示唆される。

11. スタッフのカウンターや電話での接客態度、対応

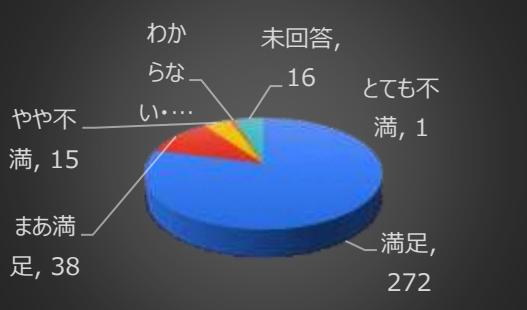
スタッフのカウンターや電話での接客態度、対応		
満足	299	85.4%
まあ満足	27	7.7%
やや不満	7	2.0%
とても不満	0	0.0%
わからない・利用しない	3	0.9%
未回答	14	4.0%
総計	350	



スタッフの接客態度については、「満足」「まあ満足」を合わせて約93%と非常に高い評価となっており、利用者からの信頼が高いことが確認できる。図書館運営の基盤として、安定したサービスが提供されている状況であると考えられる。この評価は、日々の一つひとつの対応や気配りが、利用者につながっている結果であり、今の姿勢が利用者に伝わっているという点は、図書館として非常に大切な強みである。

13. 館内外の整備・美化・安全について

館内外の整備・美化・安全について		
満足	272	79.1%
まあ満足	38	11.0%
やや不満	15	4.4%
とても不満	1	0.3%
わからない・利用しない	2	0.6%
未回答	16	4.7%
総計	344	



館内外の整備・美化・安全については、「満足」「まあ満足」を合わせて約90%と高い評価となっており、利用者が安心して利用できる環境が整えられていることが確認できる。一方で、不満は少ないものの一定数存在しており、快適性や安全性の維持・向上に向けた継続的な対応が重要であると考えられる。

12. イベントの内容、回数

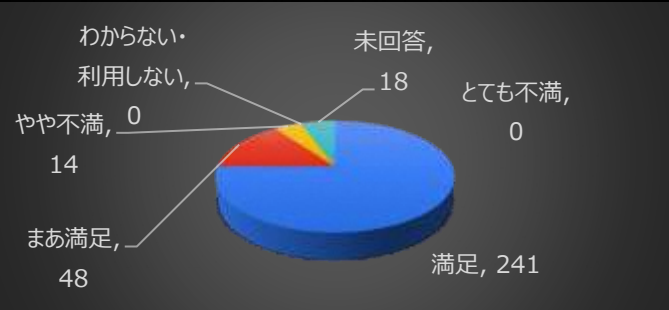
イベントの内容、回数		
満足	105	47.7%
まあ満足	29	13.2%
やや不満	20	9.1%
とても不満	0	0.0%
わからない・利用しない	46	20.9%
未回答	20	9.1%
総計	220	



イベントの内容や回数については、「満足」「まあ満足」を合わせて約61%となっており、一定の満足度が確認されている。一方で、「わからない・利用しない」とする回答も多く見られることから、イベントの内容そのものに加え、情報の届き方にも改善の余地があると考えられる。

14. 総合的な満足度について

総合的な満足度について		
満足	241	75.1%
まあ満足	48	15.0%
やや不満	14	4.4%
とても不満	0	0.0%
わからない・利用しない	0	0.0%
未回答	18	5.6%
総計	321	



総合的な満足度については、「満足」「まあ満足」を合わせて約90%と非常に高い評価となっており、利用者全体として図書館に対する満足度は高い水準にあることが確認できる。一方で、「やや不満」は約4%にとどまっているものの、個別項目では改善を求める声も見られることから、現状の強みを維持しつつ、課題への対応を進めていくことが重要であると考えられる。

15.おすすめ本情報掲示板
【コレヨンダ?】を知っていますか

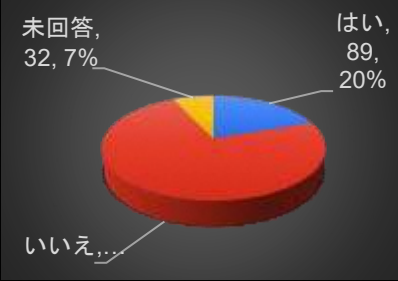
おすすめ本情報掲示板【コレヨンダ?】を知っていますか		
はい	183	40.2%
いいえ	252	55.4%
未回答	20	4.4%
総計	455	



おすすめ本情報掲示板「コレヨンダ?」の認知については、「知っている」が約40%にとどまり、「知らない」が約55%と過半数を占めている。各サービスについては一定の認知が進んでいる一方で、利用に至っていないケースも見られます。今後は、より利用につながる情報発信や導線づくりが期待される領域です。

16.【コレヨンダ?】を利用したこと
(掲示板を見たり、おすすめの
本を書いたり)はありますか

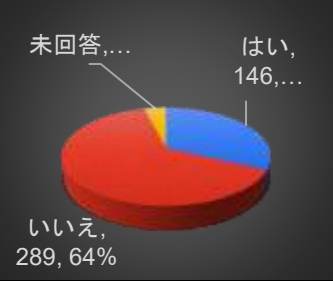
【コレヨンダ?】を利用したこと (掲示板を見たり、おすすめの 本を書いたり)はありますか		
はい	89	19.6%
いいえ	334	73.4%
未回答	32	7.0%
総計	455	



「コレヨンダ?」の利用状況については、「利用したことがある」が約20%にとどまり、「利用していない」が約73%となっている。認知率が約40%であることを踏まえると、知っていても利用に至っていない利用者が一定数存在しており、認知だけでなく利用につなげる導線や仕組み作りに余地がある。

17. 新刊コーナーの他に受け入れ
2～3か月の【準新刊コーナー】
ができたことは知っていますか

新刊コーナーの他に受け入れ 2～3か月の【準新刊コーナー】が できたことは知っていますか		
はい	146	32.2%
いいえ	289	63.8%
未回答	18	4.0%
総計	453	



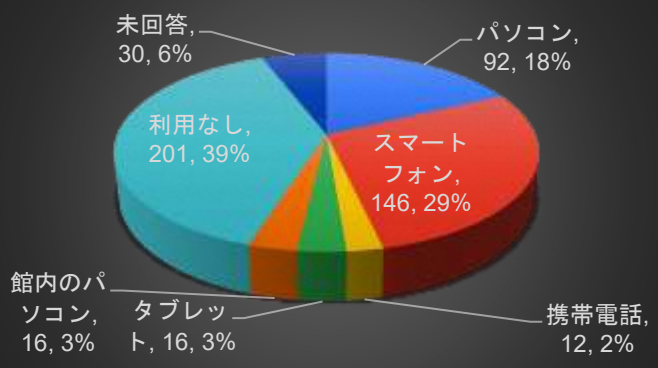
準新刊コーナーの認知については、「知っている」が約32%にとどまり、「知らない」が約64%と過半数を占めている。利用促進を目的とした施策であるにもかかわらず、十分に認知されていない状況があり、情報発信や館内での見せ方に利用につながる工夫の余地がある。



15. WEBサービスについて

WEBサービス利用時の使用デバイスについて

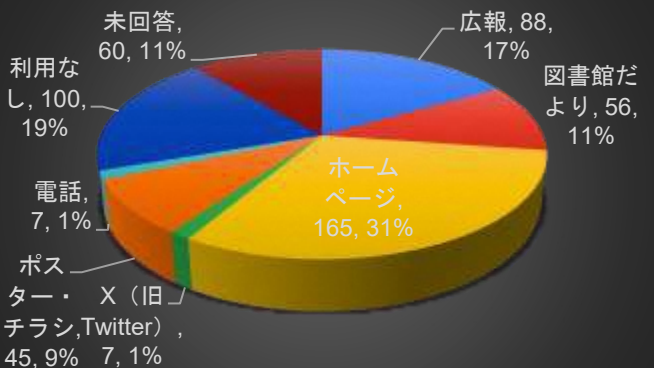
WEBサービスについて		
パソコン	92	17.9%
スマートフォン	146	28.5%
携帯電話	12	2.3%
タブレット	16	3.1%
館内のパソコン	16	3.1%
利用なし	201	39.2%
未回答	30	5.8%
総計	513	



WEBサービスの利用状況については、「利用なし」が約39%と最も多く、WEBサービス利用促進の余地がある。一方で、利用者の中では「スマートフォン」が約29%と最も多く、次いで「パソコン」となっており、利用する場合はスマートフォンが主なデバイスとなっている。今後はWEBサービスの利用促進とともに、スマートフォンを前提としたサービス設計が重要であると考えられる。

WEBサービス利用時の利用情報について

WEBサービスについて2		
広報	88	16.7%
図書館だより	56	10.6%
ホームページ	165	31.3%
X (旧Twitter)	7	1.3%
ポスター・チラシ	45	8.5%
電話	7	1.3%
利用なし	100	18.9%
未回答	60	11.4%
総計	528	

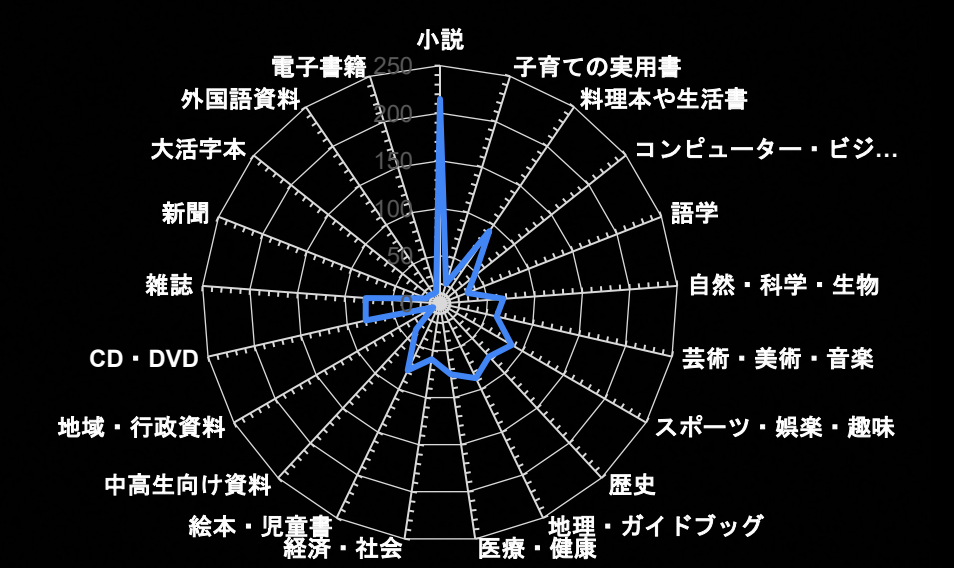
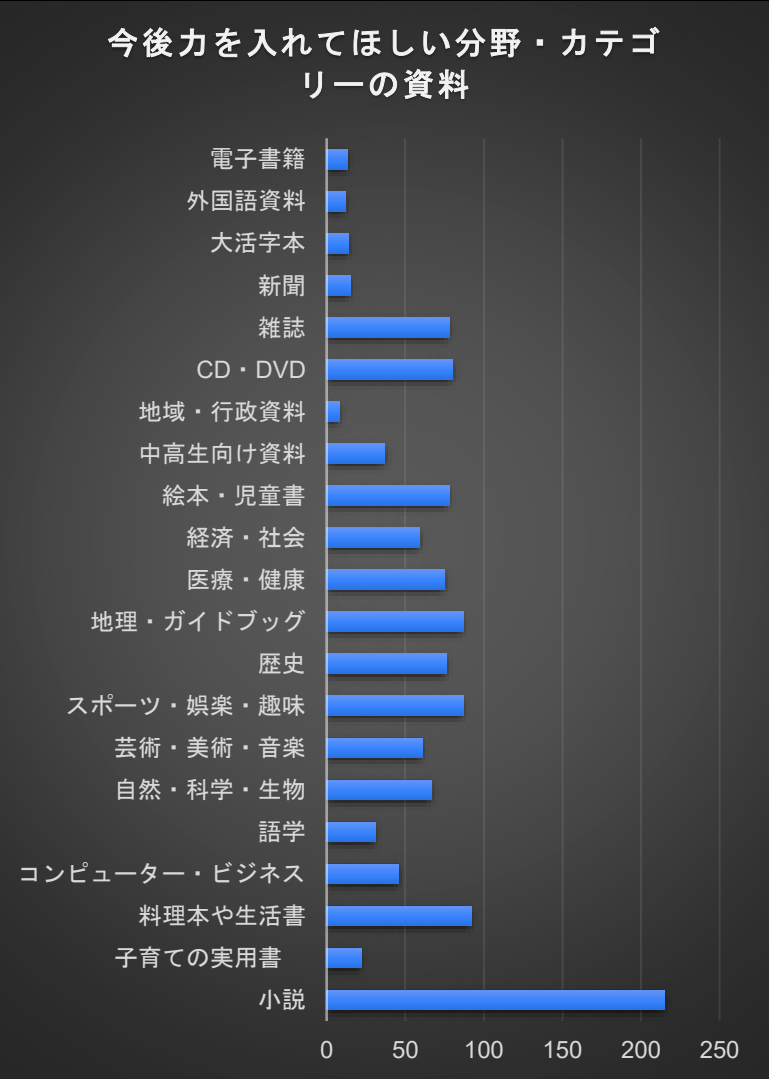


WEBサービスにおいて利用している情報源については、「ホームページ」が約31%と最も多く、次いで「広報」が約17%、「図書館だより」が約11%となっている。一方で、「利用なし」が約19%存在しており、情報発信が全ての利用者には届いていない状況が見られる。また、SNSの利用は限定的であり、情報発信手段の見直しや多様化の必要性が示唆される。

WEBサービスの利用状況は年代によって差があると考えられ、若年層ではスマートフォンを中心とした利用が進んでいる一方、高齢層では来館中心の利用が主体となっている可能性がある。今後は年代特性に応じたサービス設計が重要である。

16. 今後力を入れてほしい分野・カテゴリの資料 — アンケートトータルでの視点

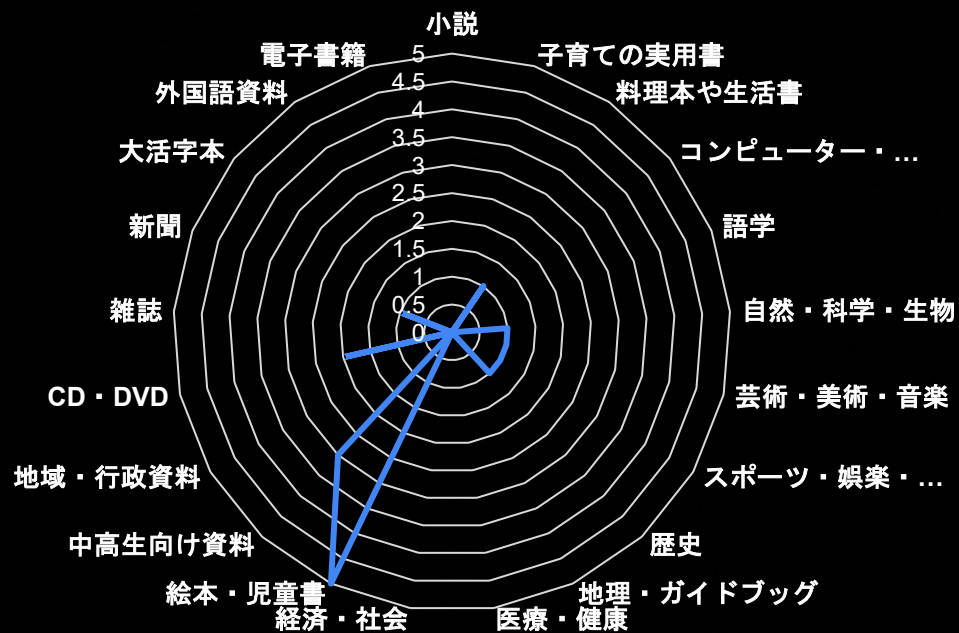
今後力を入れてほしい分野・カテゴリの資料		
小説	215	17.2%
子育ての実用書	22	1.8%
料理本や生活書	92	7.3%
コンピューター・ビジネス	46	3.7%
語学	31	2.5%
自然・科学・生物	67	5.3%
芸術・美術・音楽	61	4.9%
スポーツ・娯楽・趣味	87	6.9%
歴史	76	6.1%
地理・ガイドブック	87	6.9%
医療・健康	75	6.0%
経済・社会	59	4.7%
絵本・児童書	78	6.2%
中高生向け資料	37	3.0%
地域・行政資料	8	0.6%
CD・DVD	80	6.4%
雑誌	78	6.2%
新聞	15	1.2%
大活字本	14	1.1%
外国語資料	12	1.0%
電子書籍	13	1.0%
総計	1253	



今後力を入れてほしい分野としては、「小説」が約17%と最も多く、次いで「料理・生活」「スポーツ・娯楽」「地理・ガイドブック」「医療・健康」「歴史」などが続いている。特定分野に偏るのではなく、実用書や趣味・教養分野を含めた幅広いニーズが見られることから、バランスを意識した蔵書構成の充実が求められている。

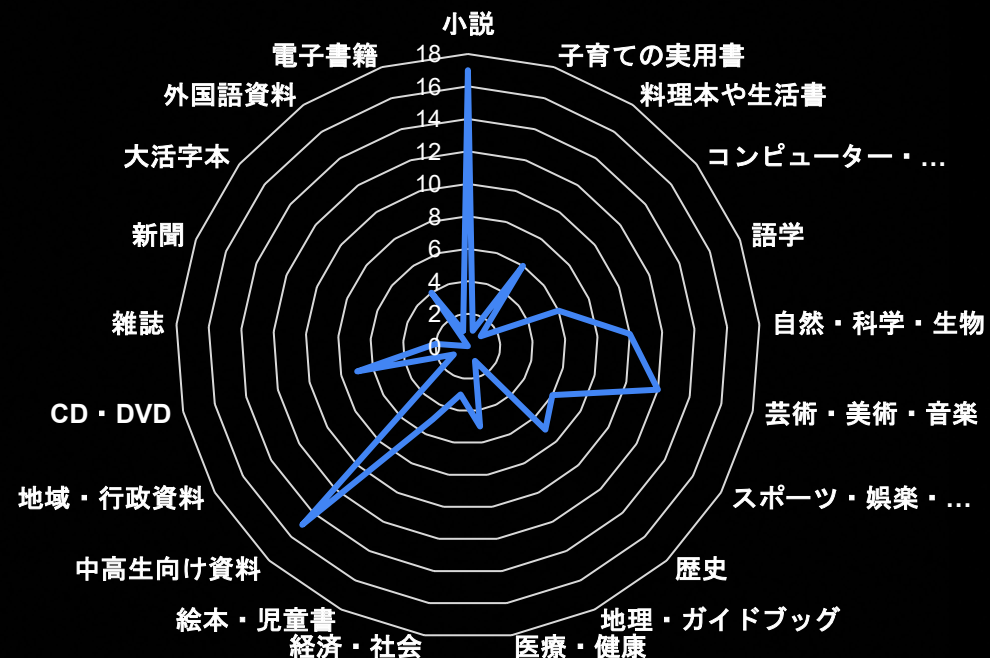
16. 今後力を入れてほしい分野・カテゴリーの資料 ― 年代別

10歳未満



10歳未満の回答については、絵本・児童書が最も多く、次いで中高生向け資料やCD・DVDなどが挙げられている。子ども自身の興味と保護者の視点が混在しており、成長段階に応じた幅広い資料へのニーズが見られる。

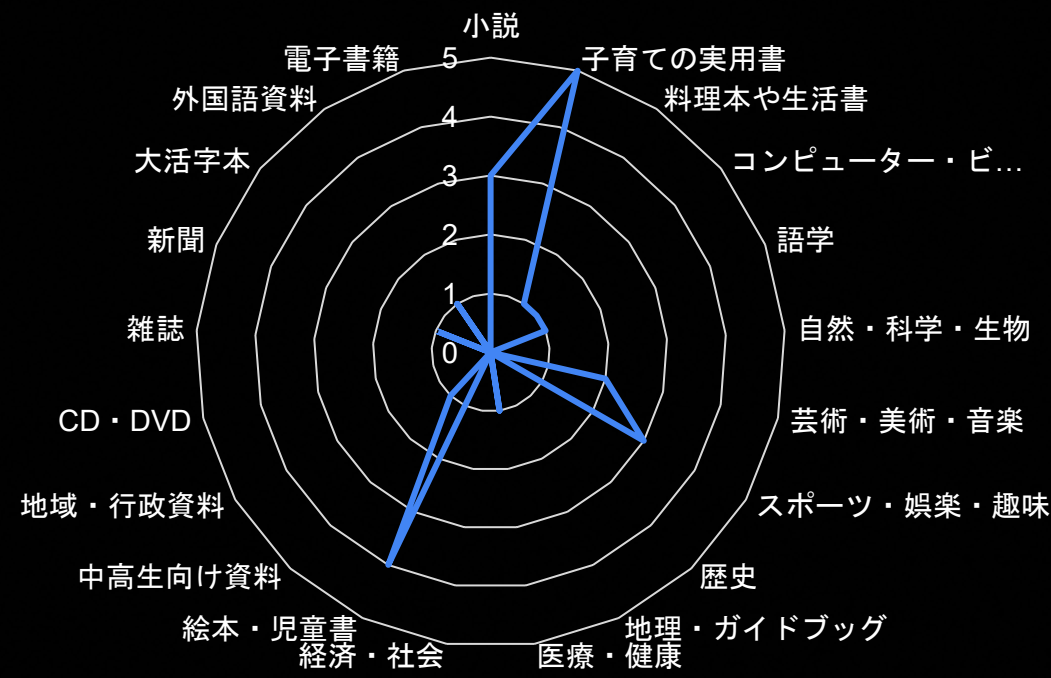
10代



10代の回答については、「小説」および「中高生向け資料」が多く、次いで「芸術・音楽」「自然・科学」など幅広い分野への関心が見られる。娯楽的な読書に加え、学習や興味関心に応じた資料を求める傾向があり、10代にとって図書館は楽しみと学びの両方を得る場として利用されていることがうかがえる。

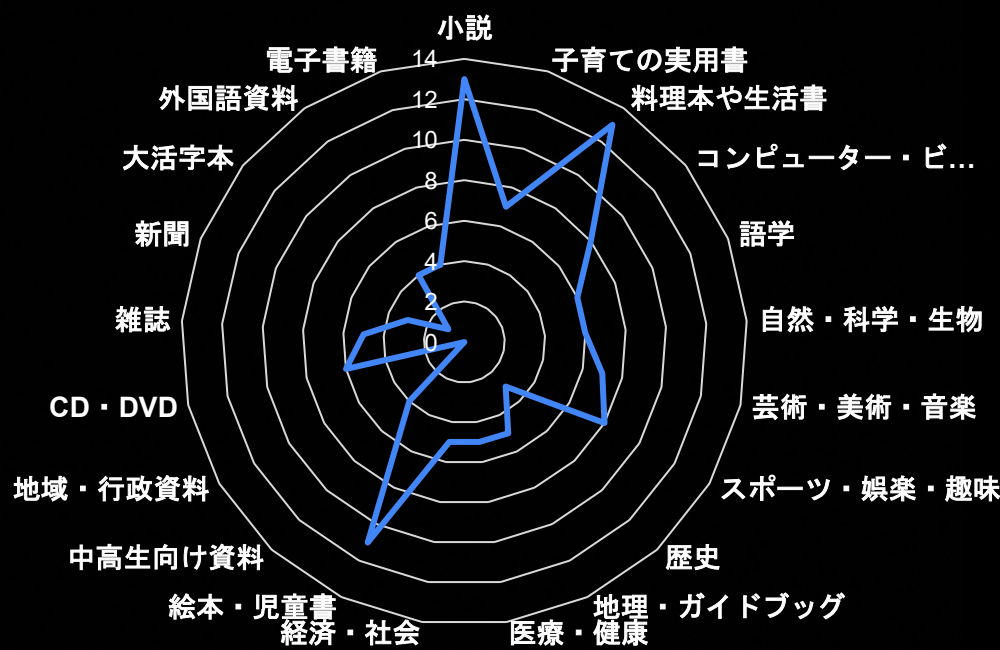
16. 今後力を入れてほしい分野・カテゴリーの資料 — 年代別

20代



20代については、子育て関連の資料へのニーズは見られる一方で、ビジネスや自己研鑽に関する分野の回答は少なく、利用傾向に偏りが見られる。このことから、子育て層は一定程度来館しているものの、働く社会人層については図書館利用が定着していない可能性がある。

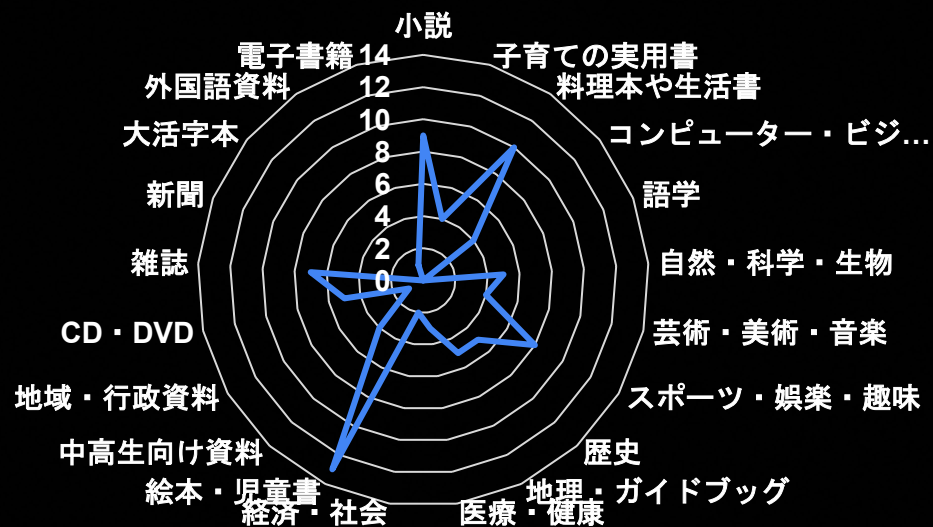
30代



30代の回答については、「小説」「料理・生活書」が同程度に多く、加えて「絵本・児童書」や「子育ての実用書」など、子育てや日常生活に関連する分野へのニーズが見られる。また、コンピューター・ビジネスや語学など自己研鑽に関する分野にも一定の関心があり、生活・子育て・自己成長が重なる多面的なニーズを持つ層であると考えられる。

16. 今後力を入れてほしい分野・カテゴリーの資料 ― 年代別

40代



40代の回答については、「絵本・児童書」が最も多く、次いで「料理・生活書」「小説」「趣味関連」などが挙げられている。子育てニーズを中心としつつも、家庭生活や自身の関心に基づく利用が見られ、家族と個人の両方の目的を持って図書館を利用する層であると考えられる。

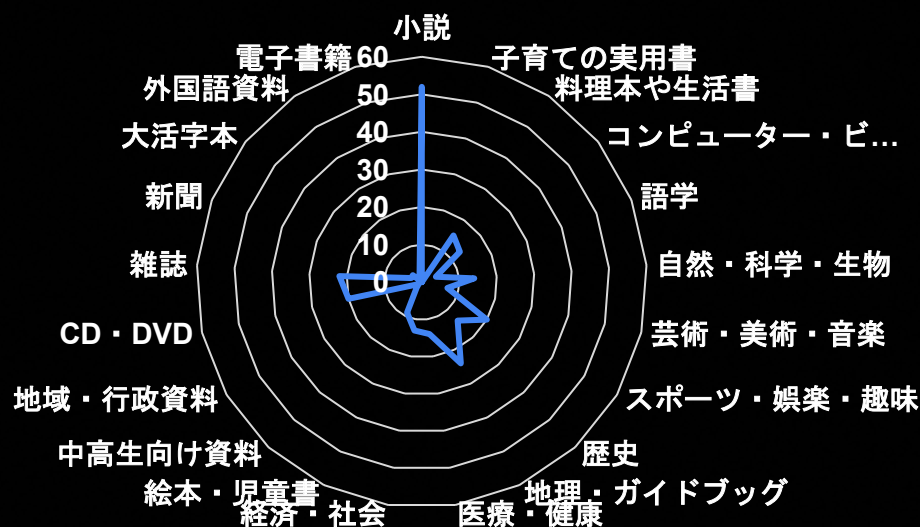
50代



50代の回答については、「小説」が最も多く、次いで「料理・生活書」「地理・ガイドブック」「雑誌」「CD・DVD」など、日常生活や余暇に関連する分野へのニーズが幅広く見られる。また、「医療・健康」「経済・社会」などの実用的な分野にも一定の関心があり、生活の充実や関心の広がりに応じた多様な資料を求める傾向がある。

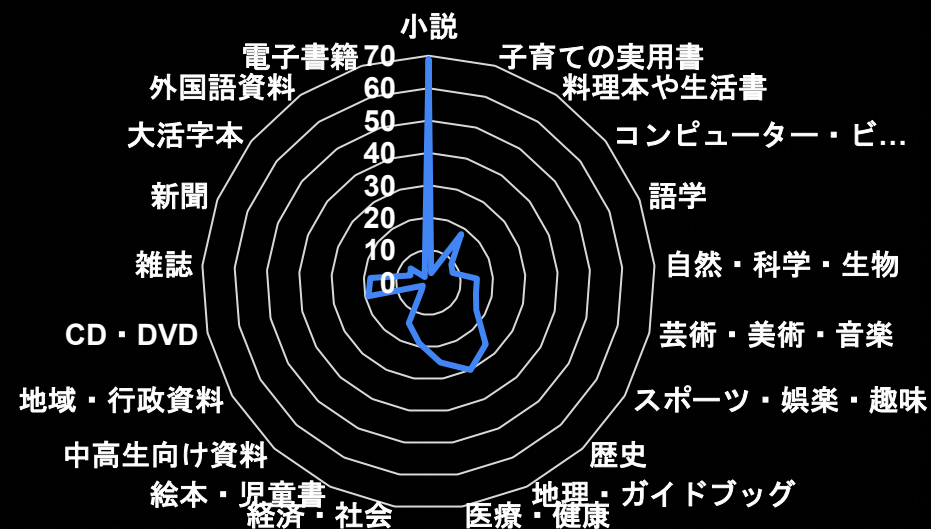
16. 今後力を入れてほしい分野・カテゴリーの資料 — 年代別

60代



60代の回答については、「小説」が最も多く、次いで「地理・ガイドブック」「雑誌」「スポーツ・娯楽」「CD・DVD」など、余暇や関心に基づく幅広い分野へのニーズが見られる。また、「医療・健康」「歴史」「経済・社会」などの実用・教養分野にも関心があり、生活の充実と知的関心の両面を満たす資料が求められている。

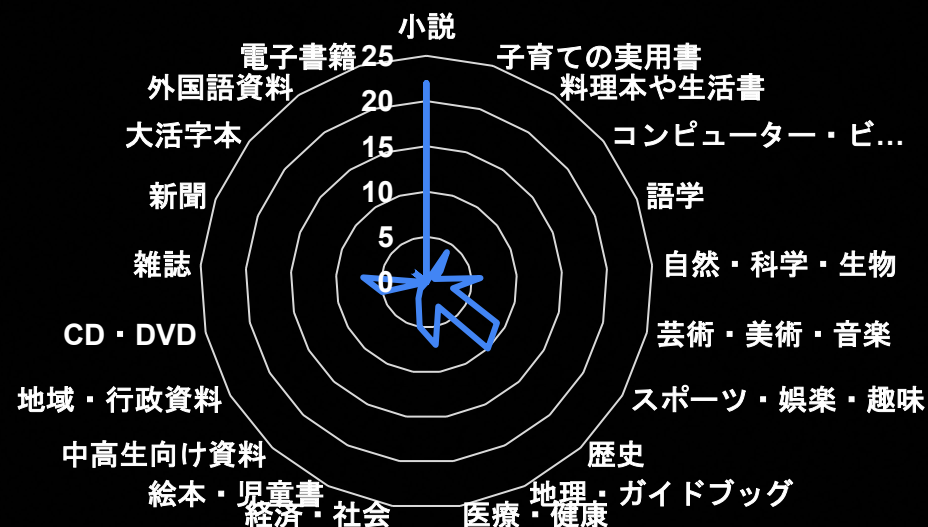
70代



70代の回答については、「小説」が最も多く、次いで「地理・ガイドブック」「歴史」「医療・健康」など、娯楽・教養・実用の各分野にわたり高い関心が見られる。また、「芸術」「趣味」「雑誌」「CD・DVD」など幅広い分野にニーズが分散しており、図書館を生活の一部として多面的に活用している層であると考えられる。

16. 今後力を入れてほしい分野・カテゴリーの資料 — 年代別

80代

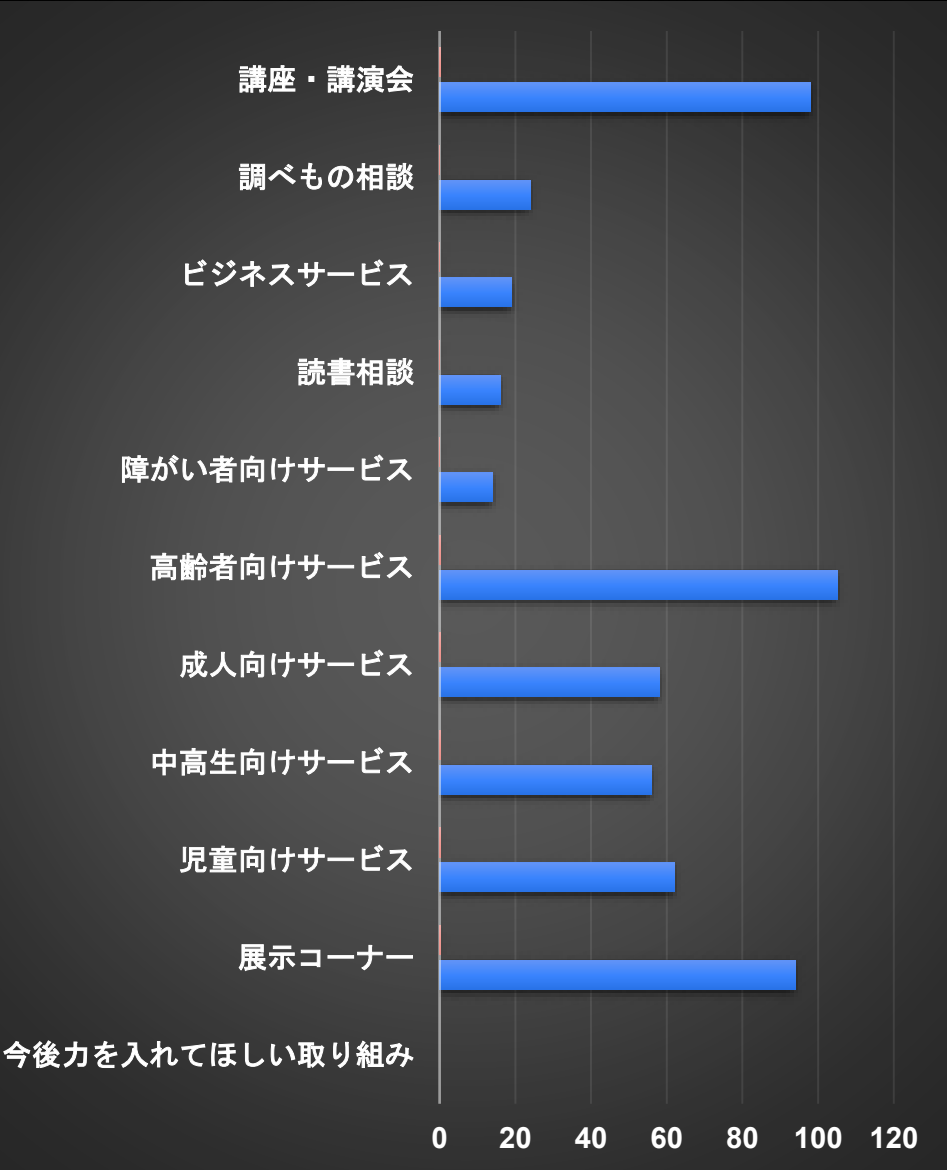


80代の回答については、「小説」が最も多く、次いで「歴史」「医療・健康」「趣味」など、関心のある分野に絞ったニーズが見られる。70代と比較すると分野の広がりはやや限定される傾向があり、利用の継続に向けては、読みやすさや関心に沿った資料提供が重要であると考えられる。



18. 今後力を入れてほしい取り組み

今後力を入れてほしい取り組み		
展示コーナー	94	20.8%
児童向けサービス	62	13.7%
中高生向けサービス	56	12.4%
成人向けサービス	58	12.8%
高齢者向けサービス	105	23.2%
障がい者向けサービス	14	3.1%
読書相談	16	3.5%
ビジネスサービス	19	4.2%
調べもの相談	24	5.3%
講座・講演会	98	21.7%
総計	452	



今後力を入れてほしい取り組みとしては、「高齢者向けサービス」が最も多く、次いで「講座・講演会」「展示コーナー」などが上位に挙げられている。特定のサービスに偏るのではなく、学びや体験を伴う取り組みへのニーズが見られることから、図書館における活動の幅を広げることが求められている。

図書館に対しては、資料提供に加え、学びや体験の機会を提供する場としての役割が期待されている。

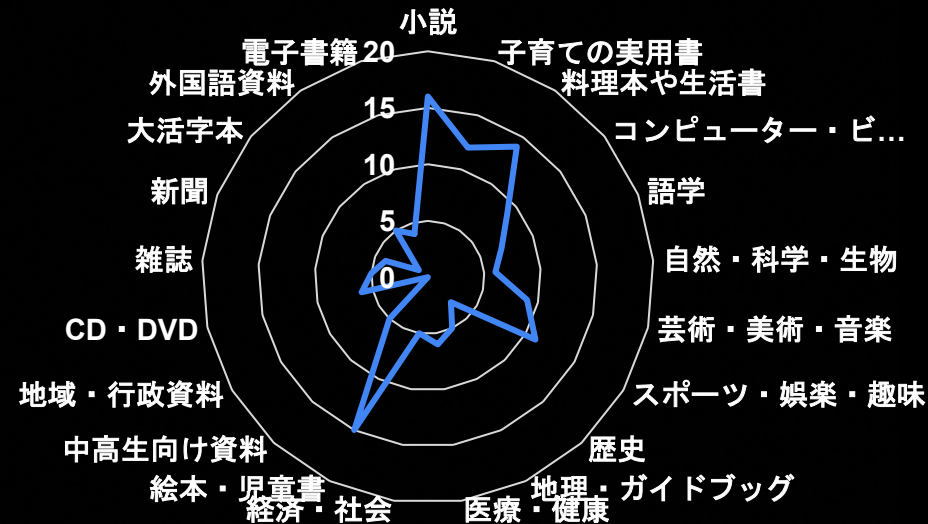
17. 今後力を入れてほしい分野・カテゴリーの資料 から見る選書の方向性

① 子ども・学生層（10歳未満＋10代） 学び＋居場所



10歳未満および10代の層については、「中高生向け資料」「小説」「芸術・音楽」「自然・科学」などへの関心が高く、娯楽と学びの両面にまたがるニーズが見られる。また、「絵本・児童書」も一定の需要があり、成長段階に応じた資料への関心が継続している。これらのことから、本層に対しては、楽しさと学びを両立し、興味関心を広げることができる選書が重要であると考えられる。

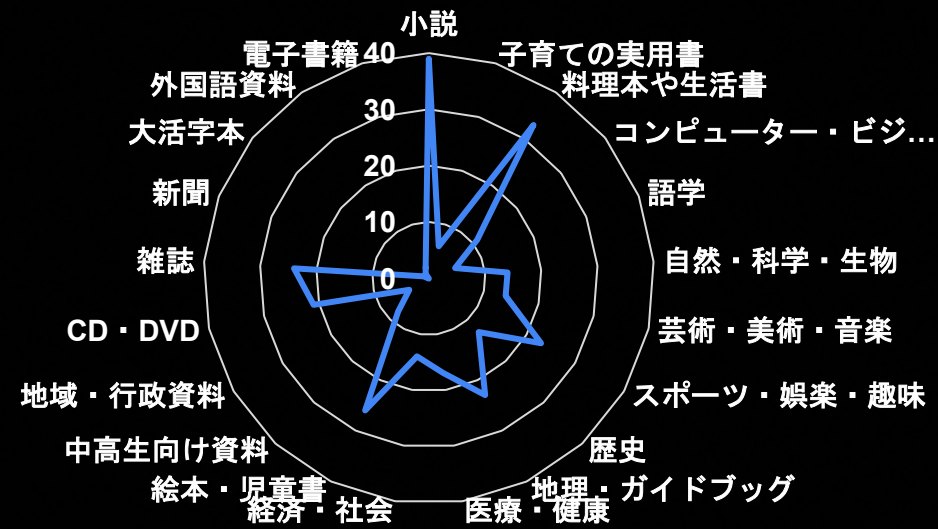
② 若年層（20代＋30代） 利用分断＋子育て



20代および30代については、回答数および傾向にばらつきが見られ、今回のアンケート結果のみでは十分な分析を行うことが難しい状況である。一方で、子育て関連や絵本・児童書へのニーズは一定程度確認されており、子育て世代の来館動機となる分野については引き続き充実を図る必要がある。

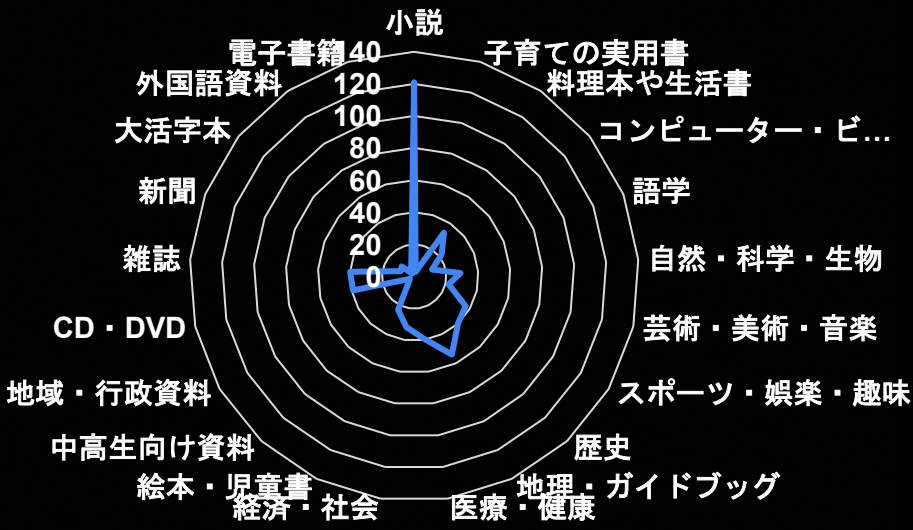
17. 今後力を入れてほしい分野・カテゴリーの資料 から見る選書の方向性

③ 生活充実層（40代+50代）
家庭＋自己実現



40代および50代の層については、「小説」「料理・生活書」「絵本・児童書」「雑誌」「CD・DVD」など、日常生活や余暇に関連する分野へのニーズが幅広く見られる。また、「医療・健康」「経済・社会」「自然・科学」など実用・教養分野への関心も一定程度存在しており、生活の充実と自己の関心を両立する資料が求められている。本層に対しては、生活に密着した実用性と、継続的に利用したくなる娯楽性を組み合わせた選書が重要であると考えられる。

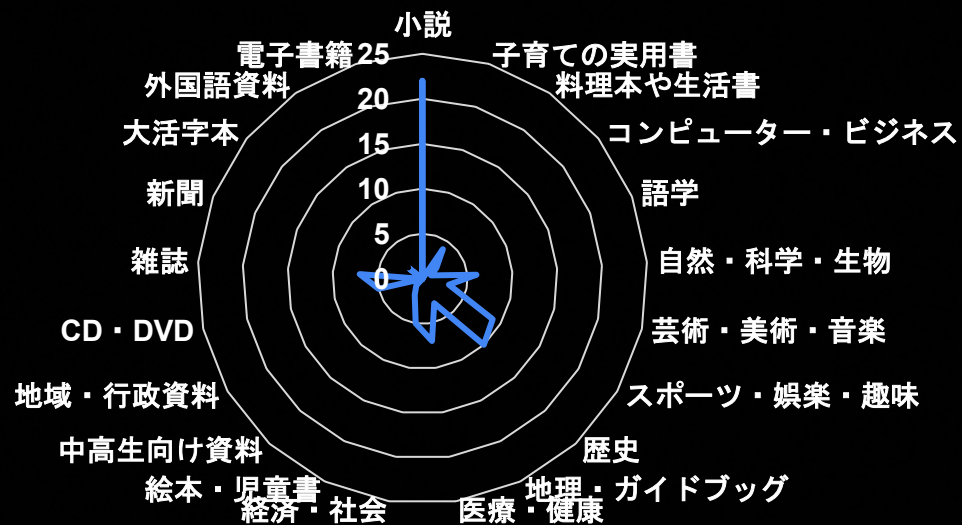
④ シニア層（60代+70代）
中核利用者



60代および70代の層については、「小説」が最も多く、次いで「地理・ガイドブック」「歴史」「医療・健康」「雑誌」「CD・DVD」など、娯楽・教養・実用の各分野にわたり高いニーズが見られる。分野の偏りが少なく、幅広い関心に基づいた利用が特徴であり、図書館を日常的に活用する中核的な利用者層である。本層に対しては、各分野において継続的かつ安定的に資料を充実させる選書が重要であると考えられる。

17. 今後力を入れてほしい分野・カテゴリーの資料 から見る選書の方向性

⑤ 高齢層（80代） 継続支援



80代以上の層については、「小説」を中心に、「歴史」「医療・健康」「趣味」「雑誌」など、関心のある分野に絞ったニーズが見られる。60代・70代と比較すると分野の広がりはやや限定される傾向があり、利用の継続に向けては、読みやすさや関心に沿った資料提供が重要であると考えられる。





自由記述分析結果報告

調査概要

- 調査対象：図書館利用者
- 回答総数：195件
- データ構造：年齢層 × 自由記述コメント
- 年齢層：10歳未満～80代以上（9区分+未回答）



回答者の年齢層分布

若年層

10歳未満：4件

10代：16件

20代：10件

中年層

30代：19件

40代：14件

50代：33件

高齢層

60代：37件

70代：47件

80代以上：13件

※ 60代以上が全体の約50%を占める

頻出キーワード TOP10

- 本：107回
- 図書館：52回
- ほしい：33回
- ありがと：21回
- 予約：16回
- 嬉しい：15回
- 借り・席：各14回
- 時間：13回
- 新刊：12回
- 増やして・スタッフ：各11回



全体テーマ①：褒めている点

- 職員・スタッフの対応が親切で丁寧
- 蔵書が充実している・本がたくさんある
- 予約システムが便利で使いやすい
- 子ども向けイベントが楽しい・充実



全体テーマ②：不満・改善要望

- ・ 話題の新刊・人気本の予約待ちが長い
- ・ 勉強席が足りない・椅子が硬い
- ・ 館内マナー（私語・独り言）への対策
- ・ CD・DVD・雑誌の種類を増やしてほしい
- ・ Wi-Fi・電源などデジタル環境の整備

年齢層別特徴：若年層（10～20代）

主な利用目的

学習・勉強が中心

重視する点

座席、Wi-Fi、静粛性

館内マナー問題への敏感さが高く、設備・環境改善への要望が多い

年齢層別特徴：中年層（30～40代）

主な利用目的

子育て支援・娯楽

重視する点

児童書、新刊、駐車場

予約システム評価が高く、話題本・マンガへのニーズあり

年齢層別特徴：シニア層（50～60代）

主な利用目的

読書・情報収集

重視する点

新刊、雑誌、CD・DVD

蔵書の質・量への関心が最も高く、具体的な要望が多い

年齢層別特徴：高齢層（70代以上）

主な利用目的

読書・余暇活動

重視する点

大活字本、職員対応

満足度が最も高く、感謝の声が多数。要望は控えめ

世代間比較マトリクス

10～20代：設備・環境重視、マナー敏感

30～40代：利便性重視、多様なニーズ

50～60代：蔵書の質・量への高い関心

70代以上：満足度高、感謝の声多数

感情傾向の概要

ポジティブ 40～45%

感謝・満足・愛着の声。高齢層に多い

ネガティブ 30～35%

建設的な改善要望が中心

中立 20～25%

「特になし」など

まとめ

宮代町立図書館の現在位置

現在は、“来て借りて帰る図書館”としては非常に機能している

利用者構造

60代以上が約55%（455件中249件）

50代以上が約70%を占める

10～30代は約20%にとどまる

全体的な満足度は高い
世代間でニーズが明確に分かれる

利用パターン

月1～3回程度の定期利用が中心

予約機能を活用した効率的利用

自家用車利用が約55%

満足度

総合満足度：約90%が満足

職員対応：約93%が満足

蔵書内容：約66%（改善余地あり）

図書館像

中高年・シニア層を中心とした定期利用型の生活圏図書館

課題：若年層・子育て世代の利用促進、蔵書更新の強化、学習空間の質向上

最後に

宮代町立図書館では、日頃より多くの皆様にご利用いただき、誠にありがとうございます。

また、このたびの利用者アンケートにご協力いただきました皆様に、心より御礼申し上げます。

本アンケートを通じて、図書館が多くの方にとって安心して過ごせる場としてご利用いただいていることを大変ありがたく感じております。

一方で、資料の充実やサービスの認知など、今後さらに取り組むべき点についても、多くの貴重なご意見をいただきました。

今回の結果は、現状の評価として受け止めるとともに、今後の図書館運営の重要な指針として活用してまいります。

引き続き、すべての方にとって使いやすく、親しみやすい図書館を目指し、改善と工夫を重ねてまいります。

今後とも、宮代町立図書館をどうぞよろしくお願いいたします。

宮代町立図書館 館長



宮代町立図書館

Fin.